

ふあんたすていく 亜米利加

89th 定期演奏会

6. 4 (金)

於. 文京公会堂

開場. PM5:30

明治大学

ハーモニカソサエティー





部長
北島忠男

今年の春の定期演奏会はアメリカ建国200年を記念したプログラムが組まれました。明大ハーモニカ・ソサエティーも創設されてから57年が経ちました。私が部長をお引受けしたのが1966年春の第71回定演からですので、10年経ちました。われわれが春秋の定演をもつとすれば、今回の定演は第91回となるはずですが、実は、この10年間のうち、1970年の春の定演は中止され、また、1971年の春はポピュラー・コンサートとして演奏会を開いて定期演奏会とはしませんでした。こうした理由で、今回が第89回となっているのです。アメリカ建国200年といい、ソサエティー創設57年といい、長い時間が流れていますが、私たちは数字で示された時の経過の中味にこそ留意しなければならないと思います。せんじつめれば、それは毎日毎日の人びとの生活の積み重ねということになると思います。

われわれも毎日毎日の積み重ねによって、今年もここに定期演奏会を開くことができたわけです。今後とも、われわれの毎日の積み重ねによって、よりよい演奏会を持ちつづけて行けますよう、ご来場の皆様の暖かいご支援を心からお願い申し上げます。(北島忠男)

陽光の中、若葉もめっきり色づき初夏を感じるこの頃、貴明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、第89回定演を開催されます事を、心からお喜び申し上げます。

演奏する楽器こそ違え、同じ音楽をする私達にとって、一つの目標に全員で向かって行く貴クラブの姿勢には教えられる事があるものです。その協調から生まれる美しいメロディーは聴衆の心を揺るがせる事でしょう。

最後に今回の演奏会を成功裡に終え、これを機になお一層の発展を遂げられん事を期待してやみません。

明治大学マンドリン倶楽部

今宵、明治大学ハーモニカ・ソサエティー第89回定期演奏会の開催にあたり、私共四大学ハーモニカ・ソサエティーを代表いたしまして心からお祝い申し上げます。毎年6月下旬に開かれます、明・中・早・立四大学のハーモニカ定期演奏会に先がけて行なわれる当演奏会におきましては、私達も学ぶところが多く、特にハーモニカパートの充実ぶりは目をみはるものがあります。今回もまた音楽のジャンルにおいても、そしてステージ進行などにおいて多くの新しい試みをなされることと思います。

今宵も今までの練習の成果を十分発揮され観客ともども我々三大学を満足させてくれるものと期待しております。

文責・笠原(立大)

早稲田大学ハーモニカ・ソサエティー

立教大学ハーモニカ・ソサエティー

中央大学ハーモニカ・ソサエティー

若葉の香もさわやかに、初夏という言葉がピッタリとなじむ季節となりました。今宵ここ文京公会堂におきまして第89回定期演奏会を迎えますことは、我々明治大学ハーモニカ・ソサエティーにとりまして大きな喜びとする所であります。さて、今年アメリカ合衆国は、建国200年を迎える訳ですが、アメリカと日本とはあらゆる面において深いつながりがあると思います。特にその多民族性から生まれたジャズ、ソウル、ロック、カントリー等の音楽は、我々日本人に大きな影響を与えたと思います。今回、ゲストにカントリーの多数のゲストの方々をお迎えして、私達は、アメリカの広範囲な音楽性を御理解いただくために一生懸命練習してまいりました。未熟な演奏ではございますが、私達の演奏が多少なりとも皆様方にお楽しみ頂ければ幸いです。終演までごゆっくりお楽しみ下さいませ。最後に、この演奏会のために御協力いただきましたラジオ関東制作課長・三浦宏之氏、NHKチーフ・ディレクター・神谷種徳氏、脚本家・野村耕三氏、カントリー・アンドウエスタン・ジミー時田氏に厚く御礼申し上げる次第でございます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー

部員一同

